

G3 のツイッター その 16

烈剛河内 竹井 保満

友人から、あべのハルカス美術館で開催中の、金毘羅さん秘宝展の入場券を頂いた。

象頭山金毘羅宮の宝物で、丸山応挙や狩野清信、狩野探幽、歌川国芳などなど、中々拝見できない日本画なので、時間を割いて見に行きました。

期待して行きましたが、残念ながら、絵の保護のために照明が大変暗く、華やかな金箔や金泥も、使い古して煤けたアルマイト鍋の感じ、色彩豊かな岩絵の具もくすんで美しさは感じられませんでした。

金毘羅さんは長保三年に建立されたそうですので、千年以上前の事です。その間、色々な為政者が庶民の生活に干渉しましたが、お宮参りは取り締まりが無かった事で、参詣人は全国におよび、町は大繁盛だったそうです。今でもその名残の歌舞伎が興行されているぐらいです

期待はずれでしたが、救われた話は、こんぴら狗（いぬ）の話です。

侠客、清水次郎長の代参で、森の石松がこんぴらさんに参るのは有名な話ですが、石松ならぬ、犬が代参をしていたそうです。病気などでお参り出来ない人が、犬の首に、何処の誰の代参と書き、袋にお礼代と道中の食費を入れて村ずれまで送ったそうです

こんぴらさんの方角に旅をする人が、リレー式に犬を受け渡しして、代参を済ませて帰ってきたそうです。犬の食費代など金銭の出納も記録されており、小銭がたまると重いので、両替までした奇特な人もいたそうです。ここまで話が進むと、眉唾と思われそうですが、伊勢参りにも、おかげ犬として同様の話があります。歌川広重も東海道五十三次の絵におかげ犬の代参の絵を残しています。

昔の日本は、本当に素晴らしい人々の集まる美しい国でした。

人を裏切ったり、騙したり、殺したり、犬畜生にも劣る人間がいかに多いことか。慨嘆に堪えません。分別などと言う歳をはるかに超えた人どもが、世を騒がせ迷惑をかけるのが多い事も残念な事です。

7月5日、近畿ベンチ大会が開催されました。筋肉がだいふ落ちてきて、一階級落として59キロ級で出場しました。検量では57.6キロで随分と細くなっていました。記録はノーギアが65キロ、フルギアは75kgでした。サクセルフル・エイジングを目標にしている高齢者の記録としては、先ず先ずではないかと自負しています。

今大会でお会いした選手達の中でも肩が痛いとか、腰が痛いと言われる人がかなりおられました。パワーは生涯スポーツと謳っていますが、私の歳に近づけば、かなりの人がベンチプレスから離れて行かれると思います。百人百色のベンチプレスが有りますが、体の為にベンチプレスが有って、ベンチプレスの為に体が有るのでは無いと、トレーニング爺さんは思うのですが。

素晴らしい体づくり、記録づくりを目指して頂きたいと老婆心。